

こんな不審電話にご注意ください！

※は追加となった事例です。

【事例1】

「日本年金機構を名乗って電話が掛かってきた。『今回、あなたの情報が流出しているが、最近、何か郵便物が届いてはいませんか？これから調べに行きます。』と言われた。どうして電話番号が分かったのか、と聞いたですと切れてしまった。」

【事例2】

「日本年金機構の〇〇と名乗る男性から電話があった。初めは、『いつもお世話になっております。』とか、『この度の流出ではご迷惑をお掛けし、申し訳ございません。』と丁寧に言われ信用したが、『不正アクセスの件で該当者確認のため、現況届をお送りしたが届いていますか？ご家族が受け取っていませんか？国民年金の他に何を受け取っていますか？貯蓄額はいくらですか？300万以上ですか？』と聞かれ、不信感を持った。なぜそんなことを聞くか、と問うとしどろもどろになり、『ご協力ありがとうございました。』と言って切った。」

【事例3】

「日本年金機構を名乗る男性から、『以前、青い(または水色)の封筒を郵送しましたが、返送がありません。今日が期限なのでこの電話でお答えください』と言われ、すぐ切った。」

【事例4】

「〇〇年金事務所の〇〇と名乗る電話が来た。『あなたの年金振込口座の情報が漏れており、今回別人の年金が入金されてしまいました。すぐにATMへ行って、お金を引き出してください。銀行は混んでいるので、コンビニのATMが良いです。急がないと横領(窃盗)の罪に問われますよ。』と言われた。一瞬驚いたが、年金事務所に確認しようと思い、自分から電話を切った。」

※【事例5】

「日本年金機構を名乗る女性から電話が来た。『あなたの個人情報を確認したい』と言い、生年月日と住所を聞かれ、答えてしまった。後になって心配になり、警察と専用コールセンターに電話した。」

※【事例6】

「国税局の代理人という人から電話が来た。『何の年金を受け取っていますか？家族構成は？』と聞かれたことには答えてしまったが、内容がよくわからなかったので手紙を送ってほしいことを言うと、電話が切れた。」